

都市再生整備計画(精算報告)

きたきゅうしゅうし そ ね ち く
北九州市 曾根地区

ふくおか けん きたきゅうしゅうし
福岡県 北九州市

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	福岡県	市町村名	北九州市	地区名	曾根地区	面積	550 ha
計画期間	平成 20 年度 ~ 平成 24 年度	交付期間	平成 20 年度 ~ 平成 24 年度				

目標

大目標

地域経済の浮揚や人口増加に繋がる自動車関連産業等を中心とした新産業拠点の形成を図るとともに、健康で充実した生活を営むための医療・福祉を核とした土地利用の促進や曾根干潟の良好な環境との調和を図るなど、新都市開発拠点として魅力的なまちづくりを行う。

目標1：九州労災病院をはじめとする医療・福祉機能に加え、生活利便施設等、暮らしに役立つ機能の導入を図りながら、良好なまちづくりを行う。

目標2：地域経済の浮揚や雇用創出等、地域への波及効果の高い自動車関連産業を中心とした新産業拠点の形成を図る。

目標3：曾根干潟と産業団地との緩衝緑地や市民との憩いの空間としての緑地等の整備、また、空港移転跡地のシンボリックな存在となる周辺環境に配慮した都市空間の形成を図る。

目標4：土地利用を促進するために、道路等の整備改善による交通ネットワークの強化や交通安全性の向上など、交通体系の充実を図る。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- 「現況」
- ◆空港移転跡地は、東西に約1,700m、南北に約400mと東西に長く、北側及び西側は竹馬川、東側は曾根干潟、南側は農業振興地域に指定された田畑に囲まれており、土地利用は市街化調整区域に指定されている。
 - ◆当地区は、九州縦貫自動車道小倉東インターチェンジや新門司フェリーターミナル、新北九州空港といった広域交通網に近接しており、交通利便性が高いことから、新都市の開発ポテンシャルが高い。
 - ◆東側の曾根干潟は、カブトガニ等の希少生物の宝庫であり、自然環境にも恵まれた土地である。
 - ◆当地区の近傍における自動車メーカーの事業拡大を背景に、本市東部への自動車関連産業の立地ニーズや空港移転跡地への企業立地の優位性が高まっている。

「経緯」

- ◆平成18年3月、新北九州空港の開港に伴い、(旧)北九州空港が廃止され、約61haもの広大な未利用地が発生した。
- ◆平成18年11月に(独)労働者健康福祉機構が九州労災病院の移転用地として国から5haを購入し、平成19年4月には建築工事に着手した。
- ◆平成19年8月、空港移転跡地を含めた約71haを「くらし」、「産業」、「環境」の3つの柱を基に「医療・生活地区」、「新産業地区」、「環境保全地区」の3つのエリアに整理して、土地利用計画を定めた。
- ◆平成19年12月、自動車関連産業を中心とした「産業団地」として整備するため、国から42haを購入した。

課題

北部九州における都市間競争力の強化を目指す上で、北九州空港移転跡地の有効活用による、自動車関連産業や医療福祉を核とした新都市開発拠点づくりが最大かつ喫緊の課題である。

- ◆新北九州空港開港と同時に(旧)北九州空港が用途廃止され、大規模未利用地と化した空港移転跡地の早期有効活用が望まれている。
- ◆鉄冷えの影響で、本市の人口は減少しており、産業誘致による人口の増加や雇用の確保を図ることは市の重要な課題である。
- ◆そのためには、産業団地を早急に整備して、経済波及効果の高い自動車関連産業などの立地を促進させ、地域社会全体の活性化につなげる必要がある。
- ◆当地区の東側には、カブトガニ等の貴重種生物が生息する曾根干潟があり、この豊かな自然環境との調和・保全・共生を図ることのできるまちづくりを行う必要がある。
- ◆交通面では、国道、駅などが整備されており、広域交通拠点としての立地状況を有しているものの、空港移転跡地を挟んで長期に亘って南北が分断され、地区の交通利便性・安全性が十分でないため、道路ネットワークの充実や快適な歩行者空間の確保が必要である。

将来ビジョン(中長期)

～自動車関連産業や医療・福祉を核とした東九州方面の新たな地域拠点にふさわしいまちづくりを目指す～

- ◆『北九州市ルネッサンス構想 まちづくり推進計画2010』において当地区は、取り組む柱である「高質な都市空間を持つまち」や「世界の環境首都」の中に位置付けられている。
- ◆地域構想である『曾根地域整備の方向』では、当地区を「小倉都心部から東九州方面における新たな生活・産業拠点」として位置付けている。
- ◆『北九州市都市計画マスタープラン』において当地区は、都市機能の強化を図る拠点ゾーンの中の「新都市開発拠点」としての位置付けが与えられている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
1. JR下曾根駅の乗降客数	人/日	JR下曾根駅の1日あたりの乗降客数	空港移転跡地の土地利用が具体化され、良好なまちづくりがなされていることの指標として、JR下曾根駅の1日あたりの乗降客数を設定。	11,634	平成18年度	12,125	平成24年度
2. 雇用創出	人	企業立地に伴う新規雇用者数	空港移転跡地における新産業拠点形成の指標として、企業立地に伴う新規雇用者数を設定。	0	平成19年度	900	平成24年度
3. 環境施設面積	m ²	曾根地区内における緑地等の環境施設面積	緑地や周辺環境に調和した都市空間の形成を示す指標として、曾根地区内における環境施設面積を設定。	45,494	平成19年度	56,800	平成24年度
4. 道路整備率	%	曾根地区全体に対する道路面積の割合	交通体系の充実を評価する指標として、道路整備率を設定。	7.0	平成19年度	8.0	平成24年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・整備方針1(九州労災病院をはじめとする医療・福祉機能に加え、生活利便施設等、暮らしに役立つ機能の導入を図りながら、良好なまちづくりを行う。)</p> <p>◆九州労災病院の立地を契機とし、医療・福祉機能を中心とした健康的で充実した生活を営む「くらし」の場を目指し、地域拠点にふさわしい都市機能の充実を図る。</p>	<p>■市道曾根222号線(基幹事業/道路) ■市道曾根223号線(基幹事業/道路) ■市道曾根224号線(基幹事業/道路) ■市道曾根225号線(基幹事業/道路) ■都市計画道路6号線(基幹事業/道路) ■市道飛行場南線(中曾根工区)(基幹事業/街路) ■県道(主要地方道)門司行橋線(基幹事業/道路) ■曾根下曾根1号線(基幹事業/道路) □水道(上水道)(提案事業/地域創造支援事業) ○産業団地整備事業(污水)(関連事業) ○公共下水道事業(雨水)(関連事業) ○九州労災病院整備事業(関連事業)</p>
<p>・整備方針2(地域経済の浮揚や雇用創出等、地域への波及効果の高い自動車関連産業を中心とした新産業拠点の形成を図る。)</p> <p>◆空港移転跡地の一部を産業団地として活用することにより、北九州市東部地域における自動車関連産業の集積を図る。</p>	<p>■市道曾根222号線(基幹事業/道路) ■市道曾根223号線(基幹事業/道路) ■市道曾根224号線(基幹事業/道路) ■市道曾根225号線(基幹事業/道路) ■都市計画道路6号線(基幹事業/道路) ■市道飛行場南線(基幹事業/街路) ■県道(主要地方道)門司行橋線(基幹事業/道路) ■曾根下曾根1号線(基幹事業/道路) ■県道(主要地方道)門司行橋線(基幹事業/道路) ■湯川飛行場線(基幹事業/道路) ■中曾根東7号線(基幹事業/道路) □水道(上水道)(提案事業/地域創造支援事業) ○産業団地整備事業(造成)(関連事業) ○産業団地整備事業(污水)(関連事業) ○産業団地整備事業(雨水)(関連事業) ○公共下水道事業(雨水)(関連事業)</p>
<p>・整備方針3(曾根干潟と産業団地との緩衝機能や市民の憩いの空間としての緑地等の整備、また、空港移転跡地のシンボリックな存在となる周辺環境に調和した都市空間の形成を図る。)</p> <p>◆空港跡地内に整備する東西に走る道路に、「北九州空港移転跡地利用まちづくり構想」に掲げる”緑の軸線”としての連続した植栽を配置する。</p>	<p>■市道曾根223号線(基幹事業/道路) ■都市計画道路6号線</p>
<p>・整備方針4(土地利用を促進するために、道路等の整備改善による交通ネットワークの強化や交通安全性の向上など、交通体系の充実を図る。)</p> <p>◆新都市開発拠点として、高い利便性、複合的都市機能の実現を図るため、地域の骨格となる道路交通ネットワークの強化を図る。 ◆地区内の交通利便性や安全性を確保するために、安全・安心な歩行者空間を確保する。</p>	<p>■市道曾根222号線(基幹事業/道路) ■市道曾根223号線(基幹事業/道路) ■市道曾根224号線(基幹事業/道路) ■市道曾根225号線(基幹事業/道路) ■都市計画道路6号線(基幹事業/道路) ■市道飛行場南線(基幹事業/街路) ■県道(主要地方道)門司行橋線(基幹事業/道路) ■曾根下曾根1号線(基幹事業/道路) ■県道(主要地方道)門司行橋線(基幹事業/道路) ■湯川飛行場線(基幹事業/道路) ■中曾根東7号線(基幹事業/道路) ■沼緑町一丁目交差点(基幹事業/道路)</p>

その他

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	1,582.1	交付限度額	632.8	国費率	0.4
うち、社会資本整備総合交付金対象事業 計	1,497.1	うち、社会資本整備総合交付金対象事業 計	598.84		
うち、地域自主戦略交付金対象事業 計	85.0	うち、地域自主戦略交付金対象事業 計	34.0		

(金額の単位は百万円)

基幹事業①社会資本整備総合交付金		事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
事業	細項目					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路	市道曾根222号線	北九州市	直	490m	H19	H22	H21	H22	261.5	261.5	261.5		261.5	
	市道曾根223号線	北九州市	直	1580m	H20	H23	H20	H23	408.0	357.5			357.5	
	市道曾根224号線	北九州市	直	470m	H20	H22	H20	H22	143.0	143.0	143.0		143.0	
	市道曾根225号線	北九州市	直	690m	H20	H25	H20	H23	573.0	313.7	313.7		313.7	
	沼緑町一丁目交差点	北九州市	直	1箇所	H22	H22	H22	H22	110.0	110.0	110.0		110.0	
	都市計画道路6号線外	北九州市	直	3600m	H22	H30	H22	H23	9,150.0	163.0	163.0		163.0	
	市道飛行場南線	北九州市	直	800m	H11	H28	H23	H23	6,500.0	18.0	18.0		18.0	
	県道(主要地方道)門司行橋線	北九州市	直	1,200m	H23	H23	H23	H23	5.0	5.0	5.0		5.0	
	曾根下曾根1号線	北九州市	直	480m	H23	H23	H23	H23	16.5	16.5	16.5		16.5	
	県道(主要地方道)門司行橋線	北九州市	直	55基	H23	H23	H23	H23	16.5	16.5	16.5		16.5	
	湯川飛行場線	北九州市	直	80基	H23	H23	H23	H23	24.0	24.0	24.0		24.0	
	中曾根東7号線	北九州市	直	10基	H23	H23	H23	H23	3.0	3.0	3.0		3.0	
公園														
古都及び緑地保全事業														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設														
高質空間形成施設														
高次都市施設														
既存建造物活用事業														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計									17,210.5	1,431.7	1,431.7	0.0	1,431.7	

基幹事業②地域自主戦略交付金		事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
事業	細項目					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路	市道曾根225号線	北九州市	直	690m	H20	H25	H24	H24	573.0	5.0	5.0		5.0	
	都市計画道路6号線外	北九州市	直	3600m	H22	H30	H24	H24	9,150.0	20.0	20.0		20.0	
	市道飛行場南線	北九州市	直	800m	H11	H28	H24	H24	6,500.0	60.0	60.0		60.0	
公園														
河川														
下水道														
合計									16,223.0	85.0	85.0	0.0	85.0	

※交付期間内事業期間は平成24年度以降を記載

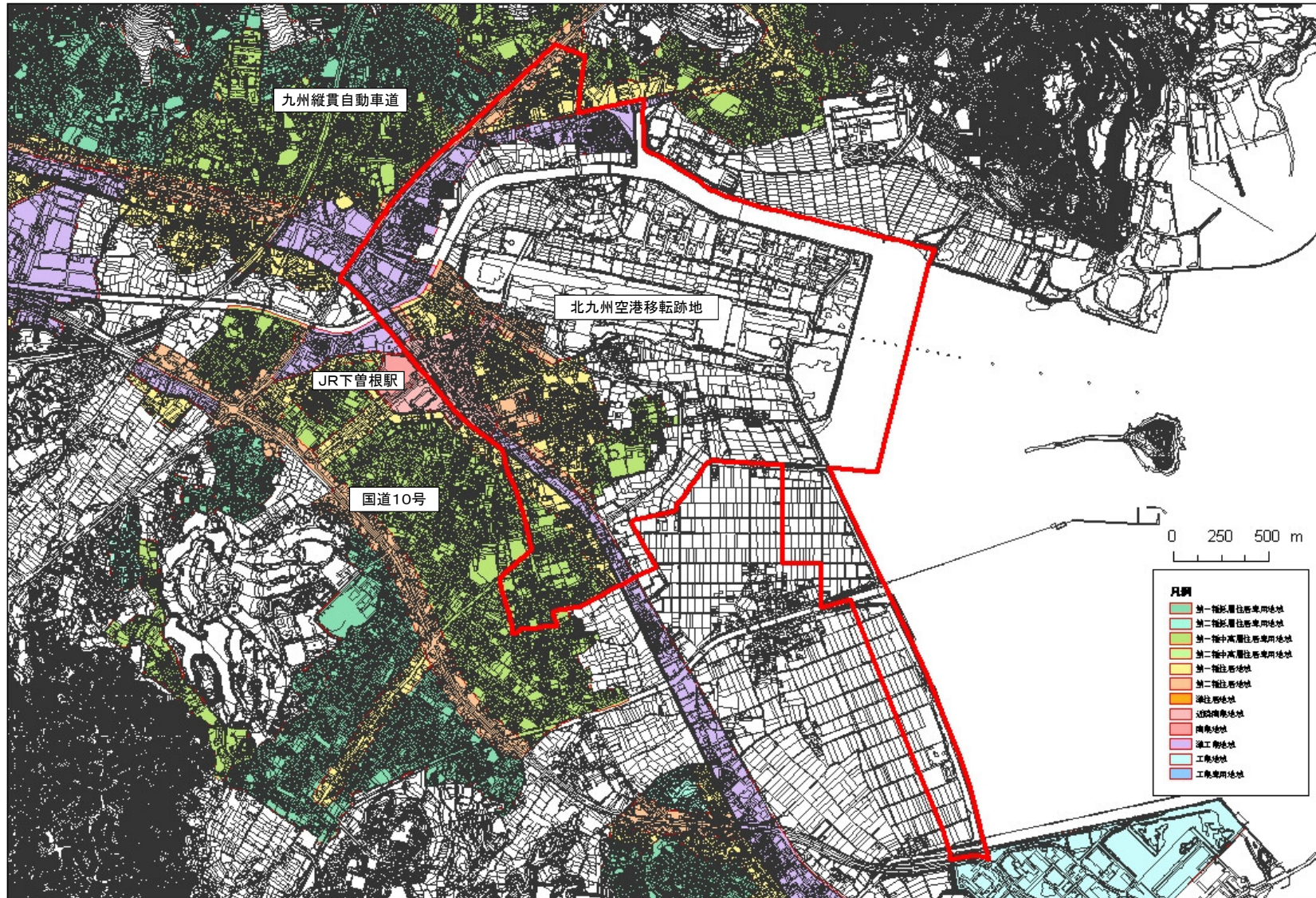
※H24以降を記載

※H24以降を記載

基幹事業 総計(①+②)									33,433.5	1,516.7	1,516.7	0.0	1,516.7
--------------	--	--	--	--	--	--	--	--	----------	---------	---------	-----	---------

都市再生整備計画の区域

<p>曾根地区(福岡県北九州市)</p>	<p>面積 550 ha</p>	<p>区域 北九州市小倉南区葛原東、下曾根、新曾根、曾根北町、大字曾根、中曾根新町、中曾根東、沼本町、沼南町、曾根新田、中曾根</p>
----------------------	------------------	---



曽根地区(福岡県北九州市) 整備方針概要図

目標	地域経済の浮揚や人口増加に繋がる自動車関連産業等を中心とした新産業拠点の形成を図るとともに、健康で充実した生活を営むための医療・福祉を核とした土地利用の促進や曽根干潟の良好な環境との調和を図るなど、新都市開発拠点として魅力的なまちづくりを行う。	代表的な指標	JR下曽根駅の乗降客数 (人/日)	11,634 (18年度)	12,125 (24年度)
			雇用創出 (人)	0 (19年度)	900 (24年度)
			環境施設面積 (㎡)	45,494 (19年度)	56,800 (24年度)
			道路整備率 (%)	7.0 (19年度)	8.0 (24年度)

